

金融商品の
取扱説明書
「トリセツ」

第36回

「JPX日経400ノーロードオープン」
DIAMアセットマネジメント株式会社

今年の1月6日に算出が開始された「JPX日経インデックス400」。ROEや営業利益などの業績指標に着目して対象銘柄を選び出すという画期的な株価指数である。この指数に連動する運用成果を目指す「JPX日経400ノーロードオープン」がDIAMアセットマネジメント株式会社より、指数算出開始と同時に設定された。今回は、同商品の特徴、JPX日経400の概要、今後の展開などをファイナンシャル・プランナーの目黒政明さんに質問していただいた。



DIAMアセットマネジメント株式会社
浜田好浩
商品企画部長



目黒政明
Interviewer
めぐろ・まさあき / 生活設計塾クルー
代表取締役。ファイナンシャル・プランナー。1959年生まれ。慶応義塾大学法学部卒業後、大和証券、独立系FP会社を経て現職。相談業務、セミナー講師、原稿執筆等で活躍中。運用関係の著書多数。

魅力ある企業に投資したい
お客さまにお勧めのファンド

目黒 最初に「JPX日経400ノーロードオープン」とはどんな商品なのかをお聞かせください。
浜田 「JPX日経400ノーロードオープン」は、ROE（自己資本利益率）等に注目して企業を選び指数化したJPX日経インデックス400（略称・JPX日経400）と連動する運用成果を目指すインデックスファンドです。「ノーロードオープン」という商品名のとおり、募集販売手数料と換金時手数料がかかりません。投資コストを抑えながら投資魅力のある企業に投資したいとお考えのお客さまにぜひお勧めしたい商品です。ちなみに、2月20日現在、JPX日経400連動型のファンドでノーロード型を取り扱うのは当社だけです。

このファンドのほかに、当社には「日経225ノーロードオープン」があります。この商品は、銀行

信用金庫、証券会社など幅広い販売会社さまに採用いただいているインデックスファンドです。このファンドを取り扱う販売会社さまに、姉妹ファンドとして「JPX日経400ノーロードオープン」も取り扱っていただきたいという想いも商品名に込めております。

ROEと営業利益に重点を置いたJPX日経400
目黒 「JPX日経400ノーロードオープン」が連動を目指すJPX日経400の特徴と算出方法について教えてください。
浜田 JPX日経400には、ROEなどの業績指標を用いてアクティブ的な視点で銘柄選定している特徴があります。具体的には、新興市場も含めた東証上場全銘柄である約3400銘柄から400銘柄を選出しています。

まず「上場3年未満」「過去3年のいずれかの期で債務超過」「過去3期連続で営業赤字、最終赤字」等の銘柄を除きます。残ったもの

の中で、直近3年間の売買代金合計額と基準日の時価総額の上位1200銘柄を選び出します。

このうち、時価総額の上位100銘柄に「3年平均ROE」「3年累積営業利益」「基準日時点の時価総額」の観点から「順位スコア」を付けます。例えば、ROEが最も高い銘柄には1000点、一番低い銘柄には1点とするので

す。3つの順位スコアを合計する際、「3年平均ROE」に0.4、「3年累積営業利益」に0.4、「基準日時点の時価総額」には0.2を乗じますので、ROEと営業利益に重点を置いた指数と言えます。

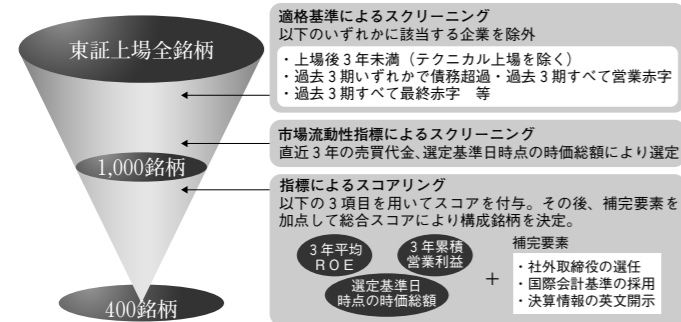
順位スコアに加えて「社外取締役の選任」「IFRS（国際会計基準）の採用」「決算情報の英文開示」がある銘柄には「定性スコア」の採用「IFRS（国際会計基準）の採用」「決算情報の英文開示」がある銘柄には「定性スコア」

図表 JPX日経400の特徴

●主要指数との比較

	JPX日経400	東証株価指数 (TOPIX)	日経平均株価 (日経225)
算出開始日	2014年1月6日	1969年7月1日	1950年9月7日
銘柄数	原則400	約1,700程度	原則225
対象銘柄	東証上場銘柄 (市場第一部、市場第二部、マザーズ、JASDAQ)	東証市場第一部上場銘柄	東証市場第一部上場銘柄
算出方法	浮動株調整時価総額加重型 (1.5%キャップ付き)	浮動株調整時価総額加重型	株価平均型
銘柄選定のポイント	対象銘柄の中から、流動性等に加えROEや営業利益などの業績指標や企業統治への取り組み等を考慮した基準により選定	対象銘柄すべて	対象銘柄の中から、流動性の高い銘柄を中心に業種間のバランスを考慮して選定
算出元	日本取引所グループおよび東京証券取引所 (JPXグループ)、日本経済新聞社	東京証券取引所	日本経済新聞社

●JPX日経400の銘柄選定方法



出所：DIAM販売資料より編集部作成

「値高株の値動きに影響を受けやすい」ということはありません。平均株価のデメリットと言われる「新興市場からも10銘柄程度が採用されており、新興市場のダイナミズムが取り入れられている良さもある指数です。」

日経平均やTOPIXなど複数の指数への分散投資
目黒 これまで、相談業務の場面では「日本の株式市場全体に投資したい」方にはTOPIX連動型のファンドをお勧めしています。一方、日経平均株価は新聞・雑誌などの媒体から簡単に情報を手に入れられますので、わかりやすい